

独立行政法人地域医療機能推進機構中京病院
第15回地域連絡協議会議事録

【日時】2022年5月20日（金）14時～15時（ハイブリッド形式にて開催）

【場所】大会議室（中央棟6階）

【議題】Ⅰ 新任委員紹介

- Ⅱ 地域医療連携に関するデータ報告 加藤 重典 室長
- 1) 紹介率・逆紹介率・初診患者数の推移 資料1
 - 2) 病診連携（受診予約・検査予約・開放型病床利用状況等） 資料2
 - 3) 退院調整（調整件数・退院先状況） 資料3

Ⅲ 「地域医療貢献をめざす JCHO 中京病院の進化について」
後藤 百万 院長

Ⅳ 「中京病院に赴任しました」
真弓 俊彦 副院長

Ⅴ 討論

Ⅵ 閉会

【出席者】（以下、敬称略、五十音順 職名は別紙参照）

- ・会場参加：加藤哲也、真田昌代、日比野正範、山口賢司
- ・Web参加：伊藤暖果、井上真理子、加藤雅通、川村益生、近藤広見、永田悦子、成田英里、非公開1名

【欠席者】

大島伸一、尾辻美和子、喜多村隆、柴田真一、野田泰永、村上京子、村川公一

【当院出席者】

後藤百万、加田賢治、大野稔人、林英司、真弓俊彦、木下敦士、河嶋知子

【オブザーバー】

独立行政法人地域医療機能推進機構東海北陸地区事務所より4名

【開会挨拶】

（後藤院長）

皆様お忙しいところありがとうございます。コロナ禍のなか当院にお集りいただいた先生方、また、現地でご参加いただいている先生方、本当にありがとうございます。当委員会は地域医療支援病院である中京病院にとりまして大変重要な会議ではあるのですが、2年前からコロナのためにほぼ書面開催でした。何とか現地開催をしたいと思っていたところです。幸いコロナも若干落ち着いていることもありましたので、ハイブリッド形式で開催させていただくこととなりました。本当に平素はお世話になりありがとうございます。1時間の会となりますが、よろしく願いいたします。

（山口委員長）

皆さんこんにちは、南区医師会の山口です。初めに今年度と来年度は引き続き会長は私が変わらず行っていきたく思いますので、よろしく願いいたします。

さて、昨年4月より名古屋市と医師会共同でワクチンの集団接種を行って参りました。いよいよ今週末で終わりとなります。長い間、ほぼ1年間で多くの方が3回のワクチンを打たれたと思います。これに関しましては、ご協力いただいた関係団体の皆さんには感謝申し上げます。ワクチン以外にも診療検査の登録医療機関が南区は41施設にのぼっております。南区は会員機関が90弱でおおよそ50%くらいの医療機関で軽症者、中等者の患者に対応で出来ている状態です。南区の

状況を話しますと昨年度ですが、負の3冠王が続いています高齢化率・生活保護率・障害者手帳をお持ちの方が多いです。更に昨年は、認知症の自立度2以上の方が沢山みえます。

このような地域ですが、地域を支えるひとつの柱、医療ですが地域の方がこの地域に住んでよかったと思えるような街づくりの医療体制を今後ともこのような会議を行いながらしっかり連携していきたいと思っておりますので、本日はよろしく願いいたします。

(加藤理事)

愛知県医師会の加藤と申します。今までなかなか書面開催で参加できなかったのが、久しぶりに参加させていただきます。先程(後藤院長)お話があったようにコロナは一時期だいぶ深刻な状況でしたが減少し、5月の連休を明けにまた、再ブレイクしてしまうのではないかと懸念が広がっていましたが、それほど患者数も増えておりません。今、医師会の方でも感染して自宅療養をしている方の宿泊施設を名古屋市で7施設ほどホテルを買い上げてやっています。その状況を見ましても増加している傾向はありません。微妙に減っている状況で落ち着いています。ワクチンを一生懸命打ってきて、その効果が表れています。しかし、若い人の接種率が低いので心配しています。本日はよろしく願いいたします。

(永田理事)

名古屋市医師会病診連携担当の永田でございます。よろしく願いいたします。新型コロナの6波では2月~3月のはじめまでオミクロンにより新型コロナや、非コロナ患者の対応等本当に助かりました。また、今年度の4月からの改定で更に連携の強化が増えてきています。今後、感染症以外の分野でも同じような連携強化が出てくるかも知れません。どちらにしても中京病院はこの地域には無くては困る病院です。更に病診連携を密にして今後ともよろしく願いいたします。本日はよろしく願い申し上げます。

【概要】

I 新任委員紹介

(井上委員)

4月に名古屋市南区保健福祉センター福祉部長を拝命いたしました井上でございます。地域連絡協議会は中京病院さんが地域の実情に応じた運営を行うことを目的としているということで、しっかりと地域の実情をお伝えできるように努めて参りたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

(真弓副院長)

皆さま初めてお目にかかります。真弓でございます。この4月より北九州の産業医科大学救急医学の方からこちらの副院長ICU診療部長として赴任して参りました。また、後ほど自己紹介させていただきます。

(木下事務部長)

この度4月1日の人事異動で富山県高岡市にありますJCHO高岡ふしき病院から赴任いたしました事務部長の木下でございます。元々は石川県金沢市の出身で石川県、富山県、愛知県と渡り歩いて参りました。いち早く慣れてみなさんのご意見を拝聴しながらしっかり名古屋市南部に求められる地域医療連携を進めていきたいと思っておりますので、どうか皆さんよろしく願いいたします。

(河嶋看護部長)

看護部長の河嶋知子と申します。この度はどうぞよろしく願いいたします。私もこの4月1日に前任の田中小百合さんの後任として赴任して参りました。3月31日までは、東京のJCHOの本部におりました。また、この地域の皆様に喜んでいただけるような看護を提供できるように努力して参りますので、よろしく願いいたします。微力ながら、参画させていただければと存じますので、今後ともよろしく願いいたします。

II 地域医療連携に関するデータ報告(加藤室長)

1) 紹介率・逆紹介率・初診患者の推移(資料1)

地域医療支援病院報告事項一覧(資料1-1)

◆ 外来・入院等実績

外来患者延数は 69,798 人、入院患者延数は 42,349 人、稼働病床利用率は 76.0%、平均在院日数は 12.9 日、在宅復帰率は 97%となっています。

◆ 紹介・逆紹介実績（資料 1-2）

初診患者は 5,178 人、紹介患者数 2,722 人（紹介率 52.6%）。逆紹介患者数は 3,837 人（逆紹介率 74.1%）となっています。

◆ 救急実績

救急患者総数は 4,104 人でうち入院しなかった患者の数は、3,418 人でその割合は 83.3%でした。入院した患者は、686 人、16.7%は入院となっています
救急搬送の患者は、1,522 人で救急車以外のウォーク in とされる患者は 2,582 人でした。
紹介率・逆紹介率・初診患者については、1 月～2 月の落ち込みがあります。その説明については、後ほど副院長の加田から説明させていただきます。

2) 病診連携（受診予約・検査予約・開放型病床利用状況等）（資料 2）

FAX・Web2021 年度（1～3 月実績）開放型病床利用（資料 2-3）

FAX・Web を使った予約状況ですが、例年通り一番多いのは眼科多いです。検査においては、従来どおり CT・MR が多く次いで上部内視鏡検査が多いです。

開放型病床の利用は、内分泌糖尿病内科、皮膚科・眼科、消化器内科・呼吸器内科でのご利用があります。医療機関は、木場内科クリニック、稲坂医院、中京眼科、カケヒ内科小児科さんにご利用いただいています。

3) 令和 3 年度 退院支援件数、転帰（資料 3-1・3-2）

退院支援件数については、2021 年度実績で退院患者総数 13,619 人中 27.4%の患者について退院支援を実施。

転帰状況については、支援に介入した患者 31%が病院へ、自宅は 53%でした。転院先医療区分は、回復期リハビリ病院 46%、地域包括ケア病棟 26%、一般病院 19%、緩和ケア病棟 2%でした。

＜加田副院長補足＞資料 1-2

1-2 月に急に紹介率が減少している理由についての補足をさせていただきます。1-2 月に初診の件数が増えているのが分かります。コロナ患者さんで発熱がある場合に家族みなさんご来院になって検査のみ受けて帰られた方が見えます。初診の方で紹介状もなく来院されて検査のみ実施して逆紹介をさせていただくこともなかったため紹介、逆紹介率ともに分母が初診の数のみ増えてしまって分子が増えないということで極端に低い数字になったと考えています。3 月になって件数もかなり回復しており、4.5 月も通常通りに戻ってくると考えています。

Ⅲ「地域貢献をめざす JCHO 中京病院の進化について」後藤 百万 院長

・今年 4 月から理事長交代がありました。尾身茂がこの 3 月で理事長を退任いたしまして、4 月から千葉大学の院長であった山本修一が理事長に就任いたしましたので、引き続きよろしくお願いいたします。

＜要旨 スライドより抜粋＞

・中京病院も今年創立 75 周年を迎えました。

中京病院：診療の特徴

- ・高度急性期・急性期病院
- ・29 診療科・10 特殊部門センターを擁する多機能総合病院
- ・地域支援病院→DPC 特定病院群（特定機能病院に準ずる高度医療の提供）
- ・75 年の歴史を有し、大学病院に匹敵する先端医療を行う診療科が少なくない
- ・応需率が極めて高い救命救急医療（救命救急センター、3 次救急）
- ・がん診療連携拠点病院・がんゲノム医療連携病院→高度ながん診療
- ・充実した手術実施体制と豊富な手術件数

- ・日本一の熱傷医療（熱傷センター）
- ・風通しのよく効率的な診療科横断医療
- ・2021年10月に“がんゲノム”医療連携病院の認定を受けまして、より先進的ながん診療に貢献出来るようになったということと、昨年4月から“災害医療センター”というセンターを立ち上げて、来るべく南海トラフ地震などの災害に備えて災害拠点病院である中京病院としても更に機能を果たしたいということを考えて進化しております。

中京病院の進化

- ・高度急性期総合病院としての進化
- ・人材育成・教育
- ・医療安全文化の醸成と体制の進化
- ・継続的病院経営基盤の確立
- ・業務改善
- ・患者サービスの向上
- ・職員が働きやすい職場環境の進化

新しい中京の強みの創出

- ・検査部：ISO（国際規格認証）取得
- ・看護部：クリティカル領域の看護師特定行為研修施設の指定
- ・整形外科：関節手術、悪性疾患の診療を拡大
- ・がんゲノム医療（がんゲノム診療連携施設）
- ・婦人科：骨盤臓器脱治療（腹腔鏡）、ロボット手術の開始
- ・成人移行の先天性心疾患診療の準備（心臓カテーテルセンター）
- ・耳鼻科での頭頸部癌の治療を拡大

地域医療機関との連携

◎質の高い返書の作成

- ・逆紹介率の増加
- ・断らない救急医療、質の高い救急医療（三次救急）
- ・連携施設開業医訪問（直接の情報提供・顔の見える関係の構築）
- ・医師会講演会（南区、緑区、熱田区、さらに拡張）
南圭会講演会（南区）
令和3年から緑区医師会講演会：年4回
令和4年から熱田区医師会での講演会開始

- ・2022年診療報酬改定の感染向上対策加算

・以前の会で私自身が、院長になって是非、連携施設の先生にご挨拶に回りたいと申し上げました。コロナ禍ではありますが、2年前から地域の先生方にご挨拶に回っています。153施設先生方にご挨拶に伺いました。まだ、私の任期もありますので、是非、回りたいと思います。連携室と連携医を訪問するのは、ただのご挨拶ということではなくて、いろいろなご意見を伺います。現場の生の声をお聞きすることが出来て、当院が直さなければならないことを言っていただくのも非常にありがたいです。

《質疑応答》

（山口委員長）

25年に新棟が完成しますが、増床はありますか。また、職員数も増やすことはありますか。

（後藤副院長）

増床はありません。病床届出は661ですが、580床くらいにベッドを減らしますので、新棟が建ったから職員を増やすということはないです。しかし、高度急性期機能が増しますので、特殊技術を

持った医療従事者の教育と一部そのような方たちをリクルートするのは必要になると思います。建築に伴う職員の増は考えておりません。

IV 「中京病院に赴任しました」真弓 俊彦 副院長

<要旨-スライドより抜粋>

- ・ガイドラインへの関与
- ・感染防止対策加算の見直し及び来々診療時の感染防止対策の評価の新設
 - ・感染対策向上加算 1
 - ・感染対策向上加算 2
 - ・感染対策向上加算 3
 - ・外来感染対策向上加算
 - ・連携強化加算
 - ・サーベランス強化加算
- ・中京病院感染対策地域連携 連携施設 (30 施設)
- ・感染対策向上加算 加算 2⇒ (3 施設)・加算 3⇒ (6 施設)
- ・外来感染対策向上加算 (21 施設)

- ・新型コロナ&救急受入れ
 - ・今後も積極的に新型コロナ、救急患者の受入れを行って行きます。
 - ・「中京病院があるこの地域の医療は素晴らしい」というご評価をいただけるよう頑張ります。

《質疑応答》

(山口委員長)

救急医療ではお世話になりますので、よろしく願いいたします。

(真弓副院長)

よろしく願いいたします。

IV 討論

(山口委員)

特になし。

V 閉会

2022 年度 地域連絡協議会開催予定

・2022 年 11 月 18 日 (金) 14 時～

中京病院中央棟 6 階 大会議室

第15回独立行政法人地域医療機能推進機構中京病院地域連絡協議会 委員名簿
2022年5月20日（金）

院外委員

NO	委員 (五十音順・敬称略)	フリガナ	職名	新任	備考	出欠席
1	伊藤 暖果	イトウ アカ	南区歯科医師会長		医療関係団体	出席 (Web)
2	井上 真理子	イノウエ マリコ	名古屋市南区保健福祉センター福祉部長	○	医療行政代表	出席 (Web)
3	大島 伸一	オオシマ シンイチ	国立長寿医療研究センター名誉総長		学識経験者	欠席 (委任)
4	尾辻 美和子	オツジ ミコ	医) 山口病院 看護部地域医療連携室室長		医療関係団体	欠席 (委任)
5	加藤 哲也	カトウ テツヤ	名古屋市南消防署長		医療行政代表	出席
6	加藤 雅通	カトウ マサミチ	愛知県医師会担当理事		医療関係団体	出席 (Web)
7	川村 益生	カムラ ヨシオ	熱田区医師会長		医療関係団体	出席 (Web)
8	喜多村 隆	キタムラ タカシ	明治学区連絡協議会会長		市民代表	欠席 (委任)
9	近藤 広見	コトドウ ヒロミ	名古屋市南区訪問看護 ステーション 所長		医療関係団体	出席 (Web)
10	真田 昌代	マタノ マサヨ	善常会リハビリテーション病院 事務部長		医療関係団体	出席
11	柴田 真一	シバタ シンイチ	緑区医師会長		医療関係団体	欠席 (委任)
12	永田 悦子	ナガタ エツコ	名古屋市医師会担当理事		医療関係団体	出席 (Web)
13	成田 英里	ナリタ エリ	名古屋市南区南部いきいき支援センター センター長		医療行政団体	出席 (Web)
14	野田 泰永	ノダ ヤスナガ	天白区医師会長		医療関係団体	欠席 (委任)
15	非公開		非公開		医療関係団体	出席 (Web)
16	日比野 正範	ヒビノ マサノリ	南区薬剤師会長		医療関係団体	出席
17	村上 京子	ムラカミ キョウコ	瑞穂区医師会長		医療関係団体	欠席 (委任)
18	村川 公一	ムラカワ コウイチ	知多郡医師会長		医療関係団体	欠席 (委任)
19	山口 賢司	ヤマグチ ケンジ	南区医師会長		医療関係団体	出席

12名/19名

院内委員

NO	委員	フリガナ	職名	新任	備考	出欠席
1	後藤 百万	ゴトウ モモカズ	病院長		自院	出席
2	加田 賢治	カダ ケンジ	副院長		自院	出席
3	大野 稔人	オノ トシヒト	副院長		自院	出席
4	林 英司	ハヤシ エイジ	副院長		自院	出席
5	真弓 俊彦	マユミ トシヒコ	副院長	○	自院	出席
6	木下 敦士	キノシタ アツシ	事務部長	○	自院	出席
7	河嶋 知子	カワシマ トモコ	看護部長	○	自院	出席

7名/7名